



KEY STATION（キーステーション）のスタッフと利用者の皆さん。右端が「職場紹介」の主役・太田さん（撮影時のみ、皆さんにマスクを外していただきました）。

徹底調査

# 各施設の「新型コロナウイルス」感染予防対策

INDEX

【137号に寄せて】会長・永嶋昌樹……………2  
【職場紹介】地域密着型通所介護 通所型サービス  
KEY STATION（キーステーション）……………3  
【徹底調査】各施設の「新型コロナウイルス」感染予防対策 ……6  
【報告】次世代介護機器導入の取り組み②……………8  
「広報部」新メンバー紹介……………9  
会員の声①（杉並区介護福祉士会）……………10  
会員の声②（町田市介護福祉士会）……………11  
スキルアップ&インフォメーション……………12

職場紹介

## KEY STATION （キーステーション）

報告

## 次世代介護機器導入の取り組み②

# 職場紹介

## Vol.23

### 地域密着型通所介護 通所型サービス

# KEY STATION

(キーステーション)

今号の職場紹介は、当会・会員の太田浩史さんが代表理事を務める「キーステーション」です。2年間の準備期間を経て施設をオープン。単なるデイサービスでなくコミュニティカフェを併設し、「誰かの困りごとが、誰かの可能性を発揮する」をコンセプトに、地元商店街と連携して「街づくり支援」へつなげようと積極的に活動しています。



令和2年6月新規オープン！



建物入口の案内板



左が今回の主人公・太田さん。お隣は施設長の中里さん

左が太田さんです

## 「事業計画書」を書きまくり、 起業へ

「キーステーション」があるのは、東武東上線・上板橋駅を下車してすぐの「上板南口銀座商店街」から徒歩5分ほどの場所。商店街は約150店舗が連なる古き良き時代の面影が残り、食品や衣料品などリーズナブルな価格で販売するお店がたくさん並んでいます。

太田さんは大学卒業後、介護福祉士の資格を専門学校で取得。特養、老健を経て、前職は有料老人ホームの施設長として10年勤務しました。

「新規の立ち上げも経験しましたが、その頃感じていたのが、もっと多くの人を巻き込んで何かできないかということでした。世の中の課題を見つけ、それに対して自分がやれることを形にしたい。そこで思い切って起業することにしました」

起業のための準備としてまず行ったのが、東京都中小企業振興公社が運営し創業支援を行う「TOKYO創業ステーション」で指導を受けながら、「事業計画書」を徹底的に書くことでした。創業動機やビジョン、マーケティング状況、資金繰り表を始めとした細かな書類をいかにして用意し、資金調達を行ったうえで起業するか。1年間これにかかりきりとなり、ようやく終了証を手にする事ができたそうです。

「無収入で大変でしたが、東京都が発行する終了認定証は信用度につながると考えており、実際に銀行に資金の借入れをするときなど役立ちましたね。その後、前職で一緒だった現施設長の中里芳浩君に起業の話をしたら、力を貸してくれると。彼のお父さんはこの商店街で電気屋さんを営んでいて、しかも商店街副理事長。その縁から現在の場所に施設をオープンすることになりました」

皆さん明るく、認知症の方も多いがウンのよう



上板橋駅前の上板南口銀座商店街



室内はプロジェクターなどICT機器も揃い、大画面の映像でカラオケを楽しんだり、野球観戦したり



入口にはエムズシステムの「波動スピーカー」。近くでも、また離れた浴室でも同じ音量・質で音を楽しめます



併設するカフェに来てくれる、しおりちゃんとすみれちゃん



水耕栽培で育ったサラダ菜をカットして食べちゃおう！育つ楽しさと食べる楽しみがあります

水と電気だけで育つ水耕栽培を採用。成育の様子をカメラに収めて楽しむご利用者も



ボランティアセンターから依頼があり、医療従事者へのメッセージカードを作りました



区内駅前で酒屋を営むご利用者。キーステーションに通い、表情や生活が向上したことにご家族が驚いています



## デイサービスで「小さな困りごとを解決します」

商店街との関わりを得たことで、新たに生まれたのが地域貢献という視点でした。課題を抱える商店街は全国に多数あり、「上板南口銀座商店街」も例外ではありません。そしてさらに調べてみると、板橋区の資料から区には地域密着型通所介護が足りないことがわかりました。そこで太田さんは、東京都の「空き店舗活用モデル事業」に応募。前年は0件という厳しい審査基準の中、見事採択されて起業へとつなげました。

「デイサービスをやると決めたとき、介護のみの提供で終わらせずに、デイの利用者と地域のニーズをマッチングさせたいと考えました。街づくり支援として、ささやかながら街のちょっとした困りごとを解決できる場としてここが役立てばいいなと」

運営の胆となるのが、この考え方です。令和2年6月、「キーステーション」始動。日々の活動内容に固定のレクリエーションはなく、例えばこの日は「お花紙」づくりに精を出したご利用者がいました。「入口の看板につけたいが作る時間がなくて…」という近隣店舗からの声を受け、楽しそうに手を動かしています。他にもチラシのホチキス止めなど軽作業が中心ですが、毎朝依頼された仕事を分担するためのミーティングが行われ、各自が自分の意志で活動内容を選びます。すでにご利用者から、「もっとお仕事もらってきて！」とせかされるほどです。

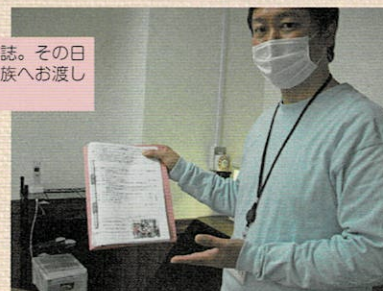
「みんなで一齐にこれをやりましょう、というのはナンセンス。自発的に誰かのために行動することが大切で、作ったお花紙も捨てられることなく生産性ある活動となります。地域の困りごとが解決でき、しかもご利用者が散歩に出たら『この前は〇〇をつくってくれてありがとう』と声をかけられ、さらに顔見知りになると挨拶も派生する。社会の役に立つことでモチベーションもアップしますよね。そして一番は、高齢になっても多くの人は何でもできる力を持っているということです。生産性のない折り紙を折っていただいているだけではもったいない」

家族主体で「デイサービスに行ったほうが安心だから」と言われ渋々通う高齢者も多い中、「私たちは『地域で困っている人がいるから週に1回ここにきて手伝っていただけませんか』とお願いします」という太田さん。目指しているのはここを拠点に情報発信し、街の活性化につなげることです。だから施設名を、「キーステーション」と名付けました。



「お嫁さんを探してあげなくちゃね」とご利用者から声をかけられる太田さん！

利用者個別の活動日誌。その日の写真を添えてご家族へお渡しします



介護のプロフェッショナルが揃っています！





お散歩へ出発。商店街を歩けばお店の方とちょっとした会話も生まれます

個別に運動指導中。足腰を鍛えるために、踏み台昇降に挑戦



カフェのメニュー券売機。太田さんが馴染みのラーメン屋さんで小型サイズのものを見つけ、同じものを購入！

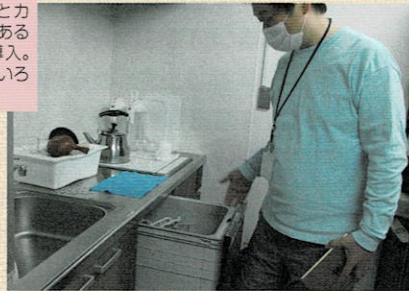


カフェのメニュー



カフェで出す「タニタコーヒー」。マシンで豆から時間をかけて抽出します

シンクはデイサービス用とカフェ用に分けて使う必要があるため、食器洗い乾燥機を導入。行政の基準を満たすためにいろいろ苦労もありました



「タニタコーヒー」が大好きな91歳のご利用者が「どんなお願いも聞いてくださって、わがまま言わせてもらっています」と笑顔です



街に出て、昼食の材料の買い物をしています。外部との接触機会も得られます



健康から介護関連まで、総合相談も受け付けています



お昼はお好み焼き。食事にも力を入れ、人気の食材や食品をみんなで食べる企画も。先日は長野県より評判のそばつゆを取り寄せて、おそばをいただきました



隣接するカフェスペース。壁はギャラリースペースとして、無料で展示貸し出しをしています

## コミュニティカフェで地域住民にアプローチ

奥に入浴施設をつくるなど、元は洋食屋さんだった室内を全面改装。さらに「キーステーション」は、地域の人々が気軽に立ち寄れるようコミュニティカフェも併設しています。太田さんはメニューを考えるにあたり、地元板橋に本社を置くタニタ食堂に相談を持ち掛け、広く出回っていないタニタのコーヒーやケーキなどを地域の人に提供するという主旨で協力を得ることができました。ほかにもさまざまな企業にアプローチし、商材提供などにつなげています。

「街の人との交流はもちろん、ご利用者にカフェの運営を手伝ってもらうこともあります。その他、WAM（独立行政法人福祉医療機構）より支援を受け、子どもの未来支援運動を実施しています。商店街に子どもの居場所がないといった地域からの相談を受け、カフェスペースを開放し、支援を行っています」

他にも、ボランティア団体「Arch（アーチ）」を結成しています。現在のメンバーは約30人で、協力して街づくりを支援。決めたことをお願いするのではなく、本人が何をしたいのか、それぞれの希望に添う形で関わってもらっています。遠方ではネットを見て、三重県から参加してくれる人もいます。

「介護福祉士という専門職から広がり、ここが地域に対して発信できる心臓のような役割になれば。そして最終目標は、他の商店街へもアプローチする横展開ですね。また、起業のノウハウを教えてほしいという声も多いです。確かに起業は大変ですが、僕でもできたことなので、やろうと思えば誰でも、必ずできます。起業したい方がいれば応援します！ いつでもご連絡ください！」

一般社団法人  
日本福祉環境整備機構  
**KEY STATION**  
(キーステーション)  
東京都板橋区上板橋  
1-9-16  
アソルティ上板橋 203  
☎ 03 (6906) 6422